

カリキュラム Curriculum	人文学研究科MC		ナンバリング Numbering	HUMLI6003J
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
10111	音声学特殊研究 <Specialized Studies in Phonetics>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
言語学	宇都木 昭(UTSUGI Akira)	秋学期 (F all semester)	火曜 : 3限	
講義題目 Title				
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	音声学研究aを履修済であること。または、調音音声学の基礎知識を有していること。基礎が不十分な場合は履修前に参考文献1 (齋藤 2006) を読んでおくこと。			
授業の目的 Purpose	この授業では、音響音声学の基礎について学びます。 この授業では、音声研究に必要な音響分析を自ら行えるようになることを目指します。 This course introduces the foundations of acoustic phonetics to students taking this course.			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>【概要】 音声学 (phonetics) は、言語の音声の研究する学問分野です。音声学の下位分野の一つに、音声の音響的特徴を分析する「音響音声学」 (acoustic phonetics) という分野があります。こんにち、音響音声学的な分析においては、コンピュータ上のソフトウェアを用いることが一般的です。この授業では、Praatという音響分析ソフトウェアの操作方法を学びながら、同時に音響音声学の基礎を学んでいきます。</p> <p>【内容】 授業は、講義・実習・発表から構成されます。実習においては、Praatを授業中に実際に操作します。発表においては、受講生に論文のレビューをしてもらいます。 この授業で予定している主なトピックは以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音響音声学の基礎 ・デジタル信号処理の基礎 ・母音のフォルマント ・破裂音とVOT ・摩擦音・破擦音 ・持続時間の測定とセグメンテーション ・アクセントとイントネーションと基本周波数 (F0) ・ToBIによる韻律ラベリング 			
教科書 テキスト Textbooks	教科書は用いず、必要に応じてプリントを配布します。			

<p>参考書 References</p>	<p><参考書> 1. 齋藤純男 (2006) 『日本語音声学入門』 (改訂版) 三省堂. 2. 川原繁人 (2018) 『ビジュアル音声学』 三省堂. 3. P. ラディフォギッド (1999) 『音声学概説』 大修館書店. 4. K. Johnson (2011) Acoustic and Auditory Phonetics (3rd edition). Chichester: Wiley-Blackwell. 5. R. ローレンス・G.J. ボーデン・K.S. ハリス 著、廣瀬肇 訳 (2008) 『新ことばの科学入門 第2版』 医学書院. 6. 北原真冬・田嶋圭一・田中邦佳 (2017) 『音声学を学ぶ人のためのPraat入門』 ひつじ書房. <参考ウェブサイト> 1. Praat (P. Boersma & F. Weenink): http://www.fon.hum.uva.nl/praat/ 2. Praat入門 (宇都木昭) : https://sites.google.com/site/utsakr/Home/praat</p>
<p>受講生の 自宅学習 Preparation and review</p>	<p>論文レビューの回の前には (発表担当であるなしにかかわらず) 指定された論文を読む必要があります。また、学期中に数回、音響分析の結果についてレポートを提出してもらうことがあります。</p>
<p>成績評価の 方法と基準 Evaluation</p>	<p>発表 (30%)、討論への参加状況 (30%)、レポート (40%) により評価します。 60点以上を合格とします。</p>
<p>連絡方法 Contact information</p>	<p>オフィスアワー : 水曜12:10-13:30 研究室 : 全学教育棟北204 電子メール : utsugi@nagoya-u.jp</p>